

冬期飼料の場合

(冬は夏の疲れ癒し、高乳価の夏に備える大切な時期)

暖地における冬期間の基礎飼料はかぶとエンシージ(とうもろこし、裏作れんげ、青刈麦類、イタリアン等)やサツマヅル、稲藁、さらに野乾草等が主体となるが多く、飼料の質的内容からみますと、養分総量は充分に補給できるが蛋白質が少ない共通点が見出されます。

そこで基礎飼料としてはできるだけ高蛋白質飼料の準備に心がけるべきで、イナワラや野乾草を乾牧草に切替え、とうもろこしには青刈大豆や、カウピーを混作する等の留意が必要ですが、なお不足を生じ勝ちですから、これは配合飼料をもって補い、暑からず、害虫も少なく、乳牛にとっては最もシノギ易い季節の冬期間に充分な給与をして働いて貰わねばなりません。

(一) 基礎飼料と配合飼料の選び方

二〇(一) (脂肪率三・五%)の牛乳生産の場合について一般に用いられている冬期基礎飼料の給与例についてみると下表の通りで、

◎例一のように採食養分総量が高く蛋白質の少ないときには乳検二号等の高蛋白質飼料や、大豆粕、落花生粕等の併用が有利で、

◎例二、三のように蛋白質には不足するが、それ程ひどくない時(体の栄養に必要な蛋白質の補給が基礎飼料で間に合い多少とも生産に回る分のある時)は養分総量六八前後、可消化粗蛋白質一〇一八%の範囲で乳量に応じて開拓三号、一、二、三A号、特二号等の利用が有利でしょう。

二 夏期飼料の場合

(夏は暑さと乳価高による搾り過ぎで牛の弱る時期です)

20 kg の牛乳を生産するための冬の飼料と配合飼料 (府県向)

基礎飼料の種類と量 (kg)	体の栄養 (体重600kg)		生産の栄養 (3.5%脂肪 20kg)										20kg以下の生産の場合の配合飼料 (kg)							
	可消化養分総量 (TDN)	可消化粗蛋白質 (DCP)	0.56	1.12	1.68	2.24	2.80	3.36	3.92	4.48	5.04	5.60	6.16	6.72	7.28	7.84	8.40	10.0	12.5	15.0
冬 とうもろこしサイレージ 20	1.12	1.12	配合飼料で補給										乳検2号	4.5	乳検2号	1.5	2.0	2.5	3.0	
冬 野乾草 2	0.11	0.11	配合飼料で補給										乳検2号	0.5	乳検2号	0.15	0.20	0.25	0.30	
冬 サツマヅルサイレージ 20	1.12	1.12	配合飼料で補給										開拓3号	8.5	特2号 2A号 特2号 特2号	3.0	3.5	4.0	4.5	
冬 かんげ青刈麦(イタリアン) 20	1.12	1.12	配合飼料で補給										3A号	6.0	1A号 特2号 特2号 特2号	2.0	4.0	4.5	5.0	

暖地では早春から青草の利用ができて乳量もグングン上昇してきますが、夏季の高温期には牧草の生育も衰え、いわゆる夏枯期となりますが、たまたまこの時期が乳価の最も高い時でとかく乳牛に無理をかけ勝ちです。この時期を健康に乗り切るための飼料給与が、暖地酪農の苦勞する点でもあり大切なことです。即ち耐暑性の牧草や、青刈類(テオン

20 kg の牛乳生産の夏の飼料と配合飼料 (府県向)

基礎飼料の種類と量 (kg)	体の栄養 (体重600kg)		生産の栄養 (3.5%脂肪 20kg)										20kg以下の生産の場合の配合飼料 (kg)							
	可消化養分総量 (TDN)	可消化粗蛋白質 (DCP)	0.56	1.12	1.68	2.24	2.80	3.36	3.92	4.48	5.04	5.60	6.16	6.72	7.28	7.84	8.40	10.0	12.5	15.0
夏 かんげ青刈麦(イタリアン) 30	1.68	1.68	配合飼料で補給										開拓3号 20	特3号 開3号 開3号 開3号	0.2	0.7	2.0	3.0		
夏 一青刈麦類(イタリアン) 30	1.68	1.68	配合飼料で補給										イナワラ 30	0.2	0.7	2.0	3.0			
夏 赤クロバー(ラデ) 25	1.40	1.40	配合飼料で補給										開拓3号 25	特3号 開3号 開3号 開3号	0.2	1.0	2.0	3.0		
夏 ニオチャード(イタリアン) 30	1.68	1.68	配合飼料で補給										イナワラ 30	0.2	1.0	2.0	3.0			
夏 とうもろこし(モントニ) 30	1.68	1.68	配合飼料で補給										開拓3号 30	開3号 開3号 開3号 開3号	1.0	2.0	3.0	4.0		
夏 三青刈大豆(カウピー) 20	1.12	1.12	配合飼料で補給										開拓3号 30	特2号 開3号 開3号 開3号	4.0	5.0	6.5	7.5		
夏 サツマヅル 20	1.12	1.12	配合飼料で補給										開拓3号 30	特2号 開3号 開3号 開3号	4.0	5.0	6.5	7.5		

(一) 夏期飼料と配合飼料の選び方
ント、ソルゴー、スターダングラス等)を充分に用意するとともに、これに併用する配合飼料は徒らに高蛋白質の搾乳飼料備用をいまして、養分総量の補給を充分にしましょう。

夏期は粗飼料が早春から夏にかけて一般に高蛋白質となり、さらに秋のサツマヅル給与で一般に体の維持栄養を補給する程度に止まることが多いので、低蛋白質の開拓三号や

雪印乳牛用配合府県向け製品一覧表

品名	保証成分(%)				(TDN) 可消化 養分総量	(DCP) 可消化 粗蛋白質	摘要
	粗蛋白質	粗脂肪	粗繊維	粗灰分			
1 A 号	20.0	2.0	10.5	10.0	69.0	18.0	
2 A 号	19.0	2.0	10.5	10.0	68.0	17.8	糖蜜多く暑熱期の嗜好増大、またエンシレージ併用によし
3 A 号	18.0	2.0	10.5	10.0	67.0	15.3	同上
特 2 号	17.5	2.0	10.5	10.0	63.0	14.5	同上
乳 検 1 号	19.0	2.5	10.5	10.0	62.1	15.8	自給飼料でTDNとDCPの釣合がとれ生産だけに用いる場合によし
乳 検 2 号	31.0	2.8	10.0	10.0	70.0	28.7	蛋白質の少ない自給飼料の場合によし、大豆粕多し
Fs 22 号	21.5	3.0	10.5	10.0	64.5	17.7	動物性蛋白質多し
開 拓 3 号	15.2	2.0	10.5	10.5	68.1	11.1	良質の青草期に利用してよし

◎その他御希望に応じて特別規格の乳牛配合も製造しております。

さらに家畜の嗜好性の高い糖蜜配合の多い特二号等が有利です。

牛乳(脂肪率三・五%)一キ生産(生産飼料としてだけ)にはどのくらいの配合飼料が必要か(府県向暖地用製品)

(必要可消化養分総量 〇・二八キロ)
(必要可消化粗蛋白質 四六キロ)

製品名	必要量(キロ)	消化率(%)	同量中の可消化粗蛋白質(キロ)	同量中の可消化養分(キロ)	摘要
一 A 号	〇・四	〇・六	〇・二四	〇・二四	蛋白質多し
二 A 号	〇・四	〇・七	〇・二八	〇・二八	蛋白質多し
三 A 号	〇・四	〇・六	〇・二四	〇・二四	蛋白質多し
特二 号	〇・四	〇・六	〇・二四	〇・二四	蛋白質多し
乳 検 一 号	〇・四	〇・六	〇・二四	〇・二四	蛋白質多し
乳 検 二 号	〇・四	〇・二	〇・一六	〇・一六	養分総量不足、イナワラ等の併給必要
FS 三 号	〇・四	〇・六	〇・二四	〇・二四	蛋白質多し
開拓三 号	〇・四	〇・二	〇・一六	〇・一六	生産飼料として釣合い

乳牛の体栄養(維持飼料)にまで購入(配合)飼料を必要とする飼育では飼養経済からみて損ですが、産乳のために必要とする飼料は配合飼料の購入利用でも充分採算がとれます。

気候条件、基礎飼料に見合う製品を選んで、不足なく、無駄なく、上手な配合飼料の利用をいたしましょう。

×

×

新総合ミネラル栄養剤

ユキカル (カルシウム製剤)

良質牛乳には〇・一三%のカルシウムが含まれており、二〇キの牛乳を生産すると二五キ位のカルシウムが体外へ持たれますから、カルシウム分の多い苜科牧草を給与する他、カルシウム製剤も充分やりませんと健康を害し、繁殖障害を起し、乳質、乳量の低下を来します。

ユキカル骨粉はこれらを防ぐためにつくられたミネラル配合のカルシウム剤の動物用薬品です。特に冬期間稗物を飼料の主体とする地帯は重用下さい。乳牛には一日約一〇〇キ、成豚二〇キ、産卵鶏一キ給与。

乳牛の健康増進と食慾、乳量増加に役立つ

鉍塩 (コーエン)

◎配合飼料には一応一%の食塩が入っていますが、粗飼料の種類、配合飼料の給与量、乳牛の状態等によって充分食塩の補給が行なわれない場合があり、家畜が必要に応じて随時塩分をとることができるように手帳に備えつけられるように圧搾固形した食塩が鉍塩です。

◎鉍塩には多くのミネラルも添加してあります。草や配合飼料だけでは摂取不足となるミネラルもありますが、鉍塩には各種ミネラルを添加してあります。 (← 鉍塩中のミネラル)

鉍塩

- カルシウム**: 健康な骨や歯をつくり酸性乳を防ぐ
- コバルト**: 虫がわかない遠血、食慾増進、泌乳促進、くわす病の予防
- 銅**: 造血・ある種の繁殖障害を防ぐ
- 食塩**: 食慾と活力を増進する
- 鉄**: 造血・貧血予防
- ヨード**: ホルモン分泌量を調整し、ある種の繁殖障害を防ぐ
- ニッケル**: 食慾増進・貧血を防ぐ
- 亜鉛**: 新陳代謝を促し生長を増進する
- マンガン**: 繁殖力・乳量をつかめ骨を強化する
- マグネシウム**: 健康な硬い骨や歯をつくる
- 硫黄**: 解毒に關するアミノ酸をつくる毛質改善